

妊産婦歯科健診・保健指導等について

1 妊産婦歯科健診・保健指導について

○ 県内の市町村の実施状況

表1

平成25年度		平成26年度		平成27年度	
実施市町村数	実施率	実施市町村数	実施率	実施市町村数	実施率
16	26.7%	22	36.7%	26	43.3%

2 1歳6か月児、3歳児の1人平均のむし歯本数について

○ 全国と福岡県の状況（平成25年度）

表2

	全国	福岡県
1歳6か月児	0.05本	0.09本
3歳児	0.63本	0.64本

出典：歯科健康診査（1歳6か月児及び3歳児健康診査）実施状況調査（厚生労働省）

3 歯周炎の割合について

○ 全国の状況

表3

年齢階級	個人最大コード（CPI）が3以上の者の割合（※）		
	平成11年度	平成17年度	平成23年度
15～19歳	7.8%	5.1%	4.5%
20～24歳	13.5%	9.5%	13.5%

出典：歯科疾患実態調査（厚生労働省）

※CPIの判定基準

0：健全 1：出血あり 2：歯石あり
 3：4～5mmに達するポケット 4：6mmを超えるポケット

4 小学校における歯科保健指導について

○ 糸島市、朝倉市、中間市の全小学校の状況（平成25年度）

表4

指導内容	実施割合
歯の磨き方	86%
食事やおやつのととり方	43%
歯垢染色で歯磨き評価	20%

決算特別委員会

提かなめ持込資料

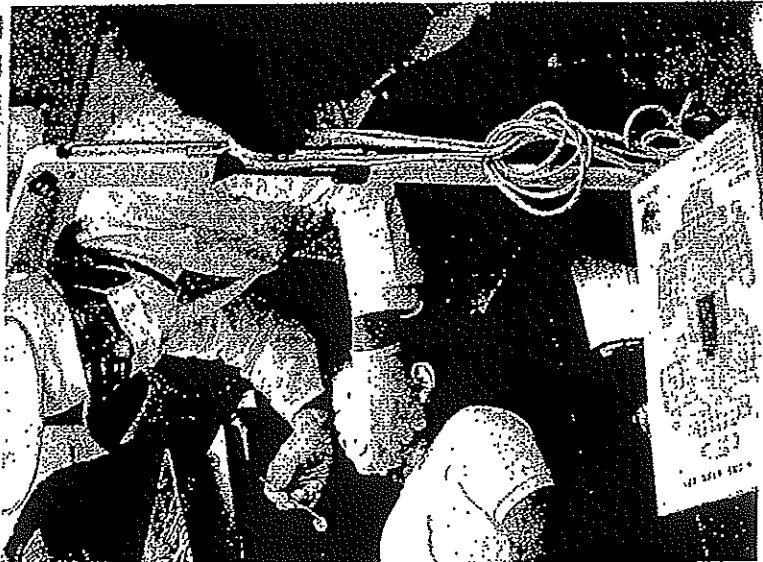
平成 27 年 10 月 28 日提出

全校95%が虫歯ゼロの中尾小

児童の健康 学校ぐるみ

全校児童の95%に虫歯が一本もない小学校がある。昨年度の「全日本学校歯科保健優良校表彰」小学生の部で最優秀賞を受賞し、歯の健康日本一に輝いた横浜市立中尾小学校(同市南区)。全国平均では児童の半数に虫歯がある中、なまの効果を挙げられたのが、学校を訪問する、そこには熱心な学校歯科医の存在があった。

(佐野 亮之)



「この歯磨きが磨けてい
ないよ」「歯並びが悪い場所
は、歯ブラシを縦にして磨い
てもらい」

25日に行われた5年生の歯
科検診では、学校歯科医の江
口磨久さん(仮)が、一人一
人の磨き残しをチェックして
いた。虫歯が見つかる児童は
ほとんどいない。

25年度に前に、同校の学校
歯科医に訪ねた江口さんは年
14回のペースで来校する。通
常の学校歯科医よりも頻りに
顔を出し、児童の歯のケアに
注意を払ってきた。

江口さんは言う。「特に予
定の場合は前巻歯の反対側
の歯が磨きにくく、裏歯を磨
くにはコツがいる。自分なら
まぐ磨けばいい場所を理解する
ことが、正しい磨き方が身に

保護者向け教室 習慣付け教育奏功 歯磨きタイム…

付く」
磨き残しがあつた場所は、
組み立てるとこの中の補助に
なるペーパーシートに書き
込み、一人一人に手渡す。自
身に持ち帰り、磨き方のコツ
を親子で理解してもらった。

同校は2007年、同市学
校保健会から歯科保健の研究
校の指定を受け、全校を挙げて
予防に取り組み始めた。歯
磨きを習慣付けるため、給食
後に全校一斉の「歯磨きタイ
ム」がある。教室に歯磨きシ
ートの書き込み像を渡し、5
分間かけて歯を磨く。

授業にも虫歯予防を取り入
れ、江口さんも教壇に立つ。
児童は虫歯予防の歌を披露
し、クイズ大会も開かれる。
毎月8日は使っている歯ブラ
シを親子で交換するほか、保
護者向けの歯科予防教室もあ
り、家族で虫歯予防に取り組
んでもらう。

こうした取り組みで、昨年
度の6年生14人だけの永久
歯虫歯の本数(治療済みの歯
を含む)は0.13本で、全国
平均の0.7本を大きく下回
った。

高橋英明校長は「正しい歯
磨き習慣は一生の宝物。学校
と家庭で学校歯科医の協力を
得ながら、児童の健康を守って
きた」と語っている。

歯科検診をむかへ江口さん(中
央)。手前の歯科医が磨き残
しが多い部分をペーパーシ
ートに書き込んでいく
中尾小学校